

井原三千雄氏

1. 立候補を決めた理由を教えてください

沼津市を再び、人があふれ、にぎわい豊かなまちにしたい。これは誰もが願うことだと思います。まちづくりのリーディング事業として期待がかかる鉄道高架をはじめ、道路、河川など、まちづくり100年の計のベースとなるインフラや主要事業が着々と進んでいます。行政、議会と通算して48年間、まちづくりに携わってきましたが、もう少しこの町の行く末を見守りたい、主体的に関わっていきたいと考え、2期目の立候補を決めました。

2. 沼津市が現在抱えている最大の課題は何で、どのような対応策が必要だとお考えですか

北部、愛鷹山麓の第一種低層住居専用地域は、かつての人口増の受け皿として造成されました。当時居住環境を重視した規制のため、高齢社会を迎えた今、商店などの生活支援施設などが不足し、不便さから転居や空き地が増加しています。一方、中心市街地では、いよいよコンパクト+ネットワークのまちづくりが始まろうとしています。その他土地利用の不具合が様々な場面で指摘され、総合的な土地利用の見直しが求められています。

3. 沼津駅付近鉄道高架事業により沼津市の再生は可能だと考えますか。

可能だとすれば、そこには、どんな因果関係があると思われますか。

沼津駅周辺総合整備事業は目的ではありません。沼津市のまちづくりの手段であり、成果は鉄道や駅前の整備に留まるものでもありません。本事業は今までもプラサヴェルデやイーラ面、駅北口広場等を整備してきました。今後、実施の過程で建物や町並みの更新、交通環境の改善、雇用の創出、新たなビジネスチャンスなど様々な成果も生み出し、人々が住み集う広域交流拠点としての沼津市のまちづくりに貢献すると確信しています。

4. 沼津市の人口減少について、国の関係機関の予測を上回るような沼津市当局が考えている合計特殊出生率の達成は可能だと考えられますか。

移住・定住策で何か、お考えはありますか。

数値目標達成は難しいと言わざるを得ず、計画改訂も視野に入れていく必要があるのでは。今後、国の政策を待つことになる希望出生率を上げる結婚、出産、子育てなどの少子化対策をはじめ、移住や観光による定住・交流人口の増加。産業振興による雇用創出。安全・安心な生活環境づくり、地域コミュニティの充実など質の高い地域づくりを柱に「沼津市人口ビジョン」に沿った、さらなるまちづくりの取り組みを怠ってはなりません。